2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　株式会社東京ソワール　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　8040　　URL　https://www.soir.co.jp
代　　表　　者（役職名）代表取締役社長　　（氏名）小泉　純一
問合せ先責任者（役職名）取締役上席執行役員経営企画本部長　（氏名）大島　和俊　（TEL）03-6372-6712
配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	11,503	△6.4	157	△45.1	236	△37.8	168	△46.4
2025年12月期第３四半期	12,291	3.2	286	△13.2	379	△5.8	314	△9.7

（注）包括利益　　2026年12月期第３四半期　　524百万円（　　36.3%）　　2025年12月期第３四半期　　384百万円（　△15.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	48.58	―
2025年12月期第３四半期	91.05	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	14,172	10,876	76.7
2025年12月期	13,934	10,488	75.3

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　　10,876百万円　　2025年12月期　　10,488百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	45.00	45.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				45.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	△5.7	90	△48.2	190	△35.7	70	△70.4	20.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　ー　　、除外　　ー社（社名）　ー

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	3,860,000株	2025年12月期	3,860,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	380,652株	2025年12月期	400,096株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	3,469,794株	2025年12月期３Ｑ	3,450,925株

（注）株式会社日本カストディ銀行（信託Ｅ口）が保有する自社の株式は、１株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 ……P. 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 ……P. 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 ……P. 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 ……P. 4
（１）四半期連結貸借対照表 ……P. 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……P. 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……P. 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……P. 9
（セグメント情報等の注記） ……P. 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……P. 9
（継続企業の前提に関する注記） ……P. 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）における日本経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、不安定な海外情勢の長期化や資源価格の高止まりなどもあり、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、原材料価格や仕入れ価格、人件費や物流費など各種コストの上昇が続く中、天候不順などの影響により商品構成や投入時期の見極めが難しい環境にあります。さらに、消費者の購買行動においても、物価上昇に伴う家計負担や生活防衛意識の高まりを背景に、節約志向や低価格志向が続いており、今後の事業環境への影響が依然として懸念されます。

このような経営環境の中、当社グループは2027年を最終年度とする中期経営計画において、「ウェルビーイングな商品・購入体験の拡充」の実現に向けて、「事業領域の拡大」、「事業基盤の整備」、「効率化の追求」に取り組んでおります。

中間年度となる2026年度は、「成長加速フェーズ」と位置づけ、フォーマル事業では、ルールやマナーなどの情報やサービスを含む「フォーマルライフ」マーケットへの価値提供を通じて顧客体験を高め、安定的な収益を生み出す基盤へと進化させております。ライフスタイル事業では、株式会社キャナルジーンを成長ドライバーと位置づけ、収益性の向上と規模の拡充を進めてまいります。また、業務提携やM&Aを通じた外部知見の取り込みを柔軟に活用し、成長に向けた戦略の幅を広げてまいります。

こうした取り組みを進めておりますが、当第３四半期連結会計期間においては、消費動向や販売環境の変化に加え、天候要因などの影響を受け、両事業ともに減収減益となりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は115億3百万円（前年同期比6.4％減）、営業利益は1億57百万円（同45.1％減）、経常利益は2億36百万円（同37.8％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億68百万円（同46.4％減）となりました。

セグメント別の経営成績の概要は次のとおりです。

＜フォーマル事業＞

フォーマル事業では、2025年秋より冠婚葬祭の多様化に対応した新たなフォーマルのスタンダードを再定義する新ブランド「ＴＯＫＹＯ　ＳＯＩＲ(トウキョウソワール)」を全販路で展開し、ブランド価値の向上と販売拡大を進めております。

当事業では、フォーマル領域における商品・サービスの提供を中心に、卸売、小売（直営店・ＥＣ）及びレンタルの各事業を展開しております。

卸売事業におきましては、閉店や業態転換に伴う売場面積の減少など、厳しい事業環境が続く中、新たなお客様の開拓と「フォーマルライフ」マーケットの拡張に向けて、従来とは異なるカテゴリーの商品提案と魅力的な売場づくりやサービスの提供を行っております。あわせて、取引条件交渉や不採算店舗からの撤退、在庫回転率の向上など、事業運営の効率化を継続的に推進しております。

小売事業におきましては、直営店「フォルムフォルマ」では、オリジナル商品の拡充と新規出店を進めております。ＥＣでは、マーケティングツールの活用や広告運用の最適化により、堅調に売上を伸ばしていることに加え、ＥＣ限定のオリジナルブランドやコラボ企画の展開により、新たな顧客層の取り込みに注力しております。「ｋｕｒｏｓ’」では、各種プロモーションによる認知度向上に加え、ホテルや飲食店など法人向け提案の強化・拡大を含むＥＣサイトのサービス拡充を進めております。

レンタル事業におきましては、マーケティング施策の強化やＥＣサイトの改修により堅調に売上を伸ばしており、更なる拡大に向けて、3月に名古屋、10月には大宮へ新規出店いたしました。

フォーマル事業における売上高は102億59百万円（前年同期比6.9％減）、営業利益は1億12百万円（同44.6％減）となりました。

＜ライフスタイル事業＞

ライフスタイル事業では、カジュアル領域におけるブランド展開を中心に、ＥＣおよびリアル店舗を通じて事業を展開しております。

当事業では、「ＣＡＮＡＬ　ＪＥＡＮ」を展開する株式会社キャナルジーンにおいて、レディースファッションを軸として、ＳＮＳでの積極的な発信により幅広い世代からの支持を獲得しております。

ＥＣ売上高は、天候要因によるシーズン商品の販売鈍化などから前年を下回りました。6月には、オフィシャルサイトをリニューアルし、UI/UXの改善や店舗との相互送客強化により、利便性と顧客体験の向上を図っております。リアル店舗の売上高は、前年のルミネエスト新宿出店による純増分はありましたが、グランフロント大阪店の売場移設などから、前年をやや下回りました。また、9月にはルミネ横浜へ出店いたしました。今後も、更なる成長に向けて厳選した地域への新規出店を進めてまいります。

ライフスタイル事業における売上高は12億43百万円（前年同期比2.7％減）、営業利益は45百万円（同46.0％減）となりました。

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における総資産は141億72百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億38百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少4億72百万円や仕掛品の減少92百万円があったものの、投資有価証券の増加5億5百万円や商品及び製品の増加4億23百万円によるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における負債は32億96百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億49百万円減少いたしました。これは、繰延税金負債の増加1億59百万円や支払手形及び買掛金の増加1億18百万円があったものの、電子記録債務の減少2億26百万円や未払法人税等の減少53百万円によるものであります。

当第３四半期連結会計期間末における純資産は108億76百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億87百万円増加いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加3億78百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて、4億72百万円減少し15億86百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は1億87百万円（前年同期は2億26百万円の収入）となりました。これは主に、棚卸資産の増加3億30百万円や未払金の減少1億20百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は62百万円（前年同期は1億2百万円の収入）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入85百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出1億2百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2億22百万円（前年同期は2億70百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払1億56百万円やリース債務の返済による支出32百万円によるものであります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,058,553	1,586,277
売掛金及び契約資産	1,395,820	1,448,646
電子記録債権	4,066	2,864
商品及び製品	4,229,111	4,652,418
仕掛品	349,050	256,622
原材料	1,413	1,294
その他	276,836	138,055
貸倒引当金	△517	－
流動資産合計	8,314,335	8,086,180
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,656,362	1,656,362
その他（純額）	691,378	693,699
有形固定資産合計	2,347,740	2,350,061
無形固定資産		
のれん	373,559	330,456
その他	48,230	32,023
無形固定資産合計	421,789	362,480
投資その他の資産		
投資有価証券	1,673,794	2,179,623
賃貸不動産（純額）	763,453	740,301
繰延税金資産	6,516	5,022
その他	409,096	450,988
貸倒引当金	△2,441	△2,346
投資その他の資産合計	2,850,418	3,373,589
固定資産合計	5,619,948	6,086,131
資産合計	13,934,283	14,172,311
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	332,563	450,882
電子記録債務	1,064,284	837,968
契約負債	108,557	106,275
1年内返済予定の長期借入金	43,840	43,840
未払法人税等	102,148	48,856
その他	733,208	606,509
流動負債合計	2,384,601	2,094,331
固定負債		
長期借入金	543,440	510,560
退職給付に係る負債	111,587	93,503
資産除去債務	205,172	227,808
繰延税金負債	111,356	271,204
その他	89,393	98,830
固定負債合計	1,060,950	1,201,907
負債合計	3,445,551	3,296,239

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,049,077	4,049,077
資本剰余金	3,732,777	3,732,777
利益剰余金	2,251,619	2,258,102
自己株式	△522,483	△497,154
株主資本合計	9,510,991	9,542,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	739,067	1,117,947
退職給付に係る調整累計額	238,673	215,321
その他の包括利益累計額合計	977,741	1,333,268
純資産合計	10,488,732	10,876,072
負債純資産合計	13,934,283	14,172,311

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	12,291,974	11,503,293
売上原価	5,828,159	5,227,864
売上総利益	6,463,815	6,275,429
販売費及び一般管理費	6,176,863	6,117,751
営業利益	286,951	157,677
営業外収益		
受取利息	404	569
受取配当金	32,472	36,187
受取賃貸料	77,054	78,094
その他	25,775	8,632
営業外収益合計	135,707	123,484
営業外費用		
支払利息	7,115	6,299
賃貸費用	33,023	33,922
その他	2,693	4,731
営業外費用合計	42,832	44,953
経常利益	379,825	236,208
特別利益		
投資有価証券売却益	79,151	37,750
特別利益合計	79,151	37,750
特別損失		
減損損失	18,989	17,772
投資有価証券売却損	－	5
特別損失合計	18,989	17,778
税金等調整前四半期純利益	439,988	256,180
法人税、住民税及び事業税	130,519	89,920
法人税等調整額	△4,745	△2,313
法人税等合計	125,773	87,607
四半期純利益	314,214	168,573
親会社株主に帰属する四半期純利益	314,214	168,573

四半期連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	314,214	168,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,734	378,879
退職給付に係る調整額	△15,420	△23,352
その他の包括利益合計	70,314	355,527
四半期包括利益	384,528	524,101
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	384,528	524,101

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	439,988	256,180
減価償却費	217,213	178,251
減損損失	18,989	17,772
のれん償却額	43,103	43,103
受取利息及び受取配当金	△32,877	△36,757
支払利息	7,115	6,299
投資有価証券売却損益（△は益）	△79,151	△37,744
契約負債の増減額（△は減少）	△55,809	△2,282
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△54	△612
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△24,918	△18,083
売上債権の増減額（△は増加）	△11,983	△51,623
棚卸資産の増減額（△は増加）	△288,195	△330,760
前払費用の増減額（△は増加）	98,563	81,753
仕入債務の増減額（△は減少）	98,853	△107,997
未払金の増減額（△は減少）	△87,114	△120,890
未払又は未収消費税等の増減額	△99,737	△57,365
その他	53,950	82,803
小計	297,935	△97,953
利息及び配当金の受取額	32,877	36,757
利息の支払額	△7,120	△6,371
法人税等の還付額	1,488	2
法人税等の支払額	△98,377	△120,396
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,802	△187,962
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△27,462	－
投資有価証券の売却による収入	183,170	85,198
有形固定資産の取得による支出	△47,815	△102,933
無形固定資産の取得による支出	－	△8,092
資産除去債務の履行による支出	△1,518	△18,284
貸付けによる支出	－	△20,548
貸付金の回収による収入	5,561	4,867
敷金及び保証金の差入による支出	△15,603	△33,317
敷金及び保証金の回収による収入	6,471	30,412
その他	90	648
投資活動によるキャッシュ・フロー	102,893	△62,049
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△32,880	△32,880
配当金の支払額	△155,943	△156,990
自己株式の取得による支出	△254	△371
リース債務の返済による支出	△81,532	△32,021
財務活動によるキャッシュ・フロー	△270,610	△222,264
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	59,085	△472,275
現金及び現金同等物の期首残高	1,862,030	2,058,553
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,921,116	1,586,277

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高、利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	フォーマル事業	ライフスタイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,014,705	1,277,268	12,291,974	－	12,291,974
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	11,014,705	1,277,268	12,291,974	－	12,291,974
セグメント利益	202,785	84,165	286,951	－	286,951

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高、利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額（注）
	フォーマル事業	ライフスタイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,259,904	1,243,389	11,503,293	－	11,503,293
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	10,259,904	1,243,389	11,503,293	－	11,503,293
セグメント利益	112,256	45,421	157,677	－	157,677

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。